

バンダイこどもアンケートレポート Vol.226

「小学生のおともだちに関する意識調査」結果

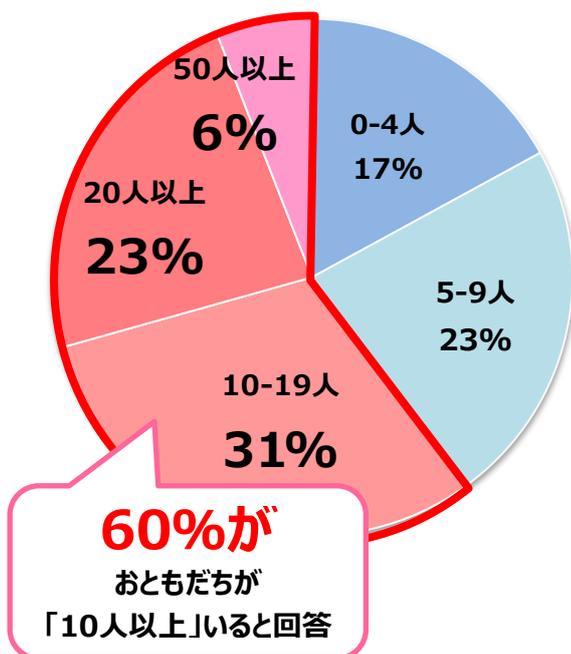
- TOPIC①: おともだちの平均人数は**16.5人!** **6割が「10人以上」**いと回答。
 ~知り合う場所について~
 1位「**学校の同じクラス**」、2位「**学校の同学年の違うクラス**」、3位「**塾(習い事)**」
- TOPIC②: おともだちの好きなおともだち1位は「**一緒にいて楽しい**」、2位「**話が合う**」、
 3位「**面白いことを言う(する)**」
 男女ともに「一緒にいて楽しい」、「話が合う」が1位、2位という結果に。
- TOPIC③: 小学生が一番おともだちになりたい有名人・アニメのキャラクターは、「**ドラえもん**」。
 男児1位は「とにかく明るい安村」、女児1位は「嵐^{*}」という結果に。^{*}個別メンバー含む

総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(代表取締役社長:川口勝、本社:東京都台東区)は、新たな出会いがある進学・進級の時期に向け、小学生たちの“友達像”を探るため、小学1年生から小学6年生のこどもを持つ親(こどもと一緒に回答できる方)840人を対象に、「小学生のおともだちに関する意識調査」を実施しました。調査結果を以下の通り発表します。(実査期間 2016年1月15日(金)~1月17日(日))

TOPIC①: おともだちの平均人数は16.5人! 6割が「10人以上」いと回答。
~知り合う場所について~
1位「学校の同じクラス」、2位「学校の同学年の違うクラス」、3位「塾(習い事)」

【おともだちの人数】(単一回答・記述式)



【おともだちと知り合う場所】(複数回答・選択回答)

おともだちと知り合う場所TOP6		
1位	学校の同じクラス	98.2 %
2位	学校の同学年の違うクラス	65.3 %
3位	塾(習い事)	37.9 %
4位	学校の自分よりも高学年のクラス	27.5 %
5位	学校の自分よりも低学年のクラス	26.5 %
6位	ご近所(幼なじみ)	25.1 %

親が小学生のときに知り合っていた場所TOP6		
1位	学校の同じクラス	95.4 %
2位	学校の同学年の違うクラス	53.5 %
3位	ご近所(幼なじみ)	30.3 %
4位	塾(習い事)	19.9 %
5位	学校の自分よりも高学年のクラス	18.2 %
6位	学校の自分よりも低学年のクラス	16.4 %

「おともだちが何人いるか」の質問については、平均人数は16.5人という結果になりました。

また、「10人以上」いる人は全体の6割で、「50人以上」と回答した人は全体の6%いることがわかりました。男女別の平均人数は、全体の平均人数とほぼ同数であり、同様に1年生～6年生の学年ごとの平均にも差異がみられません。このことから、小学校に通う6年間のおともだちの数には大幅な増減がなく、変化も少ないことがうかがえます。

おともだちと知り合う場所について質問したところ、1位「学校の同じクラス」、2位「学校の同学年の違うクラス」に次いで、3位に「塾(習い事)」がランクインしました。親世代の回答と比較してみると、1位と2位は子どもと同様でしたが、3位は「ご近所(幼なじみ)」となり、子どもの回答では「ご近所(幼なじみ)」が総合6位という結果になりました。生活スタイルが変化したとともにコミュニティのあり方も変化していることがうかがえます。

おともだちと何をしているときが楽しいかについての回答の総合1位は「ゲーム」32.4%、2位「おしゃべり」10.8%、3位「遊んでいるとき」10.1%となりました。男女別に見てみると、男児の「ゲーム」の支持は43.9%と高く、2位以降に大きな差をつけている一方で、女児では「ゲーム」21%、「おしゃべり」19.1%とほぼ同じ割合で楽しんでいることがわかりました。

また、1年生～3年生の低学年は鬼ごっこや公園で遊ぶなどの「外遊び」が上位回答にランクイン。4年生～6年生の高学年になると「外遊び」の回答は減少し、「ゲーム」や「おしゃべり」の回答が多くなっていることが読み取れました。

TOPIC②: おともだちの好きなところ1位は「一緒にいて楽しい」、2位「話が合う」、3位「面白いことを言う(する)」

【おともだちの好きなところ】(複数回答・選択式)

男女総合TOP5			男児総合TOP5			女児総合TOP5		
1位	一緒にいて楽しい	63.5 %	1位	一緒にいて楽しい	63.6 %	1位	一緒にいて楽しい	63.5 %
2位	話が合う	49.0 %	2位	面白いことを言う(する)	46.5 %	2位	話が合う	55.4 %
3位	面白いことを言う(する)	44.8 %	3位	話が合う	42.7 %	3位	優しい	45.6 %
4位	優しい	34.4 %	4位	ゲームが上手い	30.1 %	4位	面白いことを言う(する)	43.2 %
5位	明るい	29.1 %	5位	元気	27.2 %	5位	明るい	32.2 %

おともだちの好きなところを聞いたところ、男女総合1位は「一緒にいて楽しい」、2位は「話が合う」、3位「面白いことを言う(する)」という結果でした。男女総合でTOP3となった回答は、男女共に5位以内にランクインしており、男女問わず支持されていることが読み取れました。

男児では4位に「ゲームが上手い」、7位「スポーツができる」、9位「足が速い」というような、性格的な要素以外のスキルの部分が好きなポイントとして挙げられる傾向にあることがうかがえました。

一方で女児は、3位「優しい」、5位「明るい」といった性格的な要素が上位にランクインしているほか、7位「かわいい」、9位「おしゃべり」というような外見についての要素が挙げられており、男児と比較すると、性格に加えて外見も重視する傾向にあることがわかりました。

TOPIC③: 小学生が一番おともだちになりたい有名人・アニメのキャラクターは、「ドラえもん」。

男児1位は「とにかく明るい安村」、女児1位は「嵐※」という結果に。※個別メンバー含む

おともだちになりたい有名人・アニメのキャラクターでは、昨年5月に実施した「お子さまの好きなキャラクター調査」でも5位にランクインしていたドラえもんが総合1位となりました。男女共に5位以内にランクインしていたのはドラえもんのみで、男女問わず人気であることがわかりました。理由としては「色々な道具を持っているから」、「困ったときに助けてくれるから」という回答が多数で、夢のある道具に憧れを持っていること

【おともだちになりたい有名人】（単一・自由回答）

男女総合TOP5		
1位	ドラえもん（キャラクター）	43人
2位	嵐(個別メンバー含む)（アイドル）	39人
3位	とにかく明るい安村（お笑い芸人）	28人
4位	本田圭佑選手（サッカー）	23人
	ジバニャン（キャラクター）	23人

男児総合TOP5		
1位	とにかく明るい安村（お笑い芸人）	24人
2位	本田圭佑選手（サッカー）	22人
3位	ドラえもん（キャラクター）	17人
	孫悟空（キャラクター）	17人
5位	イチロー選手（野球）	15人

女兒総合TOP5		
1位	嵐(個別メンバー含む)（アイドル）	27人
2位	ドラえもん（キャラクター）	26人
3位	浅田真央選手（フィギュアスケート）	18人
4位	西野カナ（歌手）	17人
5位	AKB48(個別メンバー含む)（アイドル）	13人

や頼れる存在であることが人気の理由として読み取れます。総合2位には、バラエティからドラマ、司会業など幅広く活躍しているアイドルグループ・嵐(個別メンバー含む)がランクイン。選んだ理由としては、「かっこいいから」、「面白いから」という声が圧倒的に多く、女兒総合1位に輝くなど女兒からの支持が高いことがわかりました。総合3位には、お笑い芸人・とにかく明るい安村さんがランクイン。男児総合1位に輝くなど、男児からの支持を集めています。選んだ理由としては、「面白いから」、「明るいから」とのコメントが寄せられており、日頃からTVで見かけることが多く、接触ポイントの多さが人気の要因の1つであることが伺えました。

男女別に見てみると、男児のランキングには、本田圭佑選手やイチロー選手など世界で活躍しているカリスマ的存在のスポーツ選

手がランクイン。選んだ理由としても「かっこいいから」、「サッカーが上手だから」、「野球が上手だから」との声が多く、“かっこよさ”に憧れを持っていることが読み取れました。その一方で、女兒のランキングでは、昨年復帰を果たした浅田真央選手や女子高生に人気の高い西野カナさん、アイドルグループのAKB48などに票を集めており、選んだ理由としても「かわいいから」というコメントが多く、“かわいさ”に憧れを持っていることが読み取れ、男女で特徴のある調査結果となりました。

【バンダイからのコメント】

こどもたちにとって新たな出会いのある春は、おともだちを作るうえで重要な時期のひとつではないでしょうか？今回はそんな進学・進級の時期に向けて、おともだちについて小学生を対象に『人数』、『好きなどころ』、『おともだちになりたい有名人』の3つのトピックで調査を実施しました。

『人数』については、調査前は学年が上がるごとに人数が増えるのではと想像していましたが、各学年でも男女別でも差異はないという結果に。小学生にとって「ともだち」という関係には、一定のキャパシティがあるような印象でした。

『好きなどころ』では、「一緒にいて楽しい」が総合、男女別でも1位。「話が合う」、「面白い」も上位に上がり、気軽に話せることがともだちに求める要素のようです。

また今回の調査結果にあるように、私たちがこどもの頃に学校以外でともだちと知り合う場所といえば「近所」と答える方が多い中、こどもたちにとって「塾」が学校の次に出会う場所として3位にあげられました。時代に合わせてコミュニティの場所も変化してきていることを感じました。

進学・進級の季節、こどもたちにより出会いがあることを願っています。

■調査概要

【調査目的】 おともだちに関する意識・実態を探る

【調査地域】 全国

【対象者条件】 小学1年生～小学6年生のこどもを持つ親（※こどもと一緒に回答できる方）

【調査手法】 インターネット調査（協力：株式会社クロス・マーケティング）

【実査期間】 2016年1月15日（金）～1月17日（日）

【サンプル数】 840人

【構成】

（全体）	小学 1年生	小学 2年生	小学 3年生	小学 4年生	小学 5年生	小学 6年生
男子	70人	70人	70人	70人	70人	70人
女子	70人	70人	70人	70人	70人	70人

こどもアンケートホームページ：<http://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイホームページ：<http://www.bandai.co.jp/>